



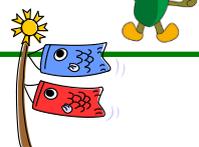
柳井市立柳井小学校 学校だより

はつらつ柳井っ子

令和7年5月2日

全校児童数496人

★「子どもが輝く学校」をめざしていきます。



みんなで創り上げる

校長 藤村 信之

4月25日（金）の参観日では、多くの保護者の皆様にご参観いただきましてありがとうございました。子どもたちは、たくさんの方が参観されていたので少し緊張していたようですが、時折、後ろや横を向きながら、お家の方を探している姿に大変微笑ましく思いました。また、保護者の皆様にしっかり学習しているか温かい眼差しで見守られており、家庭の愛情に優しく包まれて日々成長していることを改めて実感しました。



この度の参観日の様子から、S.スマイルズの著書『自助論』に記されている次の言葉が重なって感じられました。

国家の価値や力は国の制度ではなく国民の質によって決定されるのである。

「国家」とは少し大きな話に聞こえるかもしれませんが、色々と考えさせられる言葉です。子どもたちが落ち着いて学校生活が送れ、生き生きと活動できているのも、ご家庭の日々の支えがあるからこそで、この言葉は、行きつくところ“一人ひとりが如何に生きていくか”ということが問われているのではないかと思います。



このことに関連して、「3人のレンガ職人」という話があります。聞かれたことがあるかもしれませんが、話の概要は、

中世のあるヨーロッパの町で、旅人が歩いていると、汗を流しながら、重たいレンガを運んでは積み、運んでは積みを繰り返している3人のレンガ職人に出会いました。

そこで旅人は「何をしているのですか？」と尋ねました。

すると、その3人のレンガ職人は次のように答えました。

1人目は、「そんなこと見ればわかるだろう。親方の命令で“レンガ”を積んでいるんだよ。暑くて大変だからもういい加減こりごりだよ」と答えました。

2人目は、「レンガを積んで“壁”を作っているんだ。この仕事は大変だけど、お金がよいかからやっているのさ」と。

3人目は、「レンガを積んで、後世に残る“大聖堂”を造っているんだ。こんな仕事に就けてとても光栄だよ」と。

3人のレンガ職人は、「レンガを積んでいる」という状況は同じですが、意識が全く違うことが分かります。

学校においては、授業を始めとした色々な教育活動が行われます。何のために日々の教育活動を行っているのかということ、我々教職員は、常に高い意識を持って取り組まなければならないと改めて責任の重さを感じたところです。そして、子どもたちには、“何のために学んでいるのか”意識していけるよう、様々な機会を捉えて育んでいきたいと思えます。



ところで、4月26日（土）に柳井駅前麗都路通りで「ごちゃまぜ土曜夜市」がありました。路上には出店や体験コーナー等が立ち並び、様々なパフォーマンスもあって大変な賑わいでした。通りを歩いていると本校の子どもたちや保護者の方に声をかけられ、楽しいひと時を過ごすことができました。世代を超えた交流を通して、明るく楽しく過ごせる柳井になるよう、みんなで創り上げているんだなと元気な気持ちになりました。

先日の学校運営協議会で了承されました。

【柳井中学校区しらかベネット】
ふるさとを思い 未来を拓く しらかベっ子

山口県教育目標
未来を拓く
たくましい
「やまぐちっ子」
の育成

学校教育目標

「子どもが輝く学校」

柳井小児童の誇りを胸に、高い志と夢をもち、社会の変化に柔軟に対応し、地域とともに生き生きと学ぶ“はつらつ柳井っ子”の育成

柳井市教育目標
愛・夢・志を
育む教育
◇自己肯定感
◇他者肯定感
◇地域肯定感

めざす学校の姿
一人ひとりの「喜び」や「幸せ」に充ちた学校

めざす子どもの姿

知恵いっぱい
まなびあう子

笑顔いっぱい
やさしい子

元気いっぱい
やりぬく子

めざす教職員の姿
子どもの成長を願い、創意と工夫を続ける教職員

めざす地域の姿
ふるさとのよさを伝える地域(ひと・もの・こと)

柳井っ子の主体性を育む

学校経営方針

コミュニティ・スクールの仕組みを生かして家庭や地域と協働し、「大切なことを大切にする」本校の伝統を継承して魅力ある学校をつくりまします。

めざす保護者の姿
子どもに生き方を伝える保護者

達成に向けてのしくみ

重点取組事項および目標

学校課題の解決をめざした「4つのプロジェクト」*柳井中学校区の組織と連動

知育	徳育	体育	地域連携
○子どもたちが自分事の問題をもち、様々な人と関わりながら学び合う授業に向けて授業改善を行います。 ○全員の「わかる・できる」を保障するために授業改善を行い、確かな学力の定着と向上を図ります。	○家庭と連携を図りながら、誰一人取り残されることのないように、いじめや不登校の未然防止・早期発見等への取組の充実を図ります。 ○児童の困り感に寄り添いながら、個々の教育的ニーズに合わせて、指導・支援をします。	○委員会を中心とした子ども主体の情報発信を通して、望ましい生活習慣や運動習慣を身に付けようとする意欲の向上を図ります。	○さまざまな人とのつながりを意識し、保幼小・小中連携教育を推進します。 ○学校と地域が協働し、子どもたちの学びや育ちを見守り支援する取組の充実を図ります。

学年目標		4年	自分も幸せみんなも幸せ
1年	スーパー1ねんせい ～ぐんぐん・にこにこ・じっくり～	5年	豪!互!合!5年生 ～豪快でいて相互尊重でき協力して高め合う集団へ～
2年	やるときはやる・なかよく・いっしょに きらきら2年生	6年	シン・ロクネン ～シンの柳井小のリーダーを目指して～
3年	スマイル ～ふわふわことばを広げよう～	ひなた	とくいを見つけのばす

校務分掌遂行のための教職員の専門部

教務・生徒指導部	体育部	研修学力部	事務部
----------	-----	-------	-----